

平成30年度 宝達志水町男女共同参画審議会 会議録

1 議 題	第3次宝達志水町男女共同参画行動計画進捗状況について
2 日 時	平成31年2月28日(木) 午後1時30分から午後3時
3 場 所	生涯学習センター 2階 セミナー室
4 出席委員	中村(栄)委員、井上委員、中村(俊)委員、中山委員、杉中委員、山岸委員、白川委員、北山委員、田村委員
5 事務局	定免課長、秋田課長補佐、赤尾主任(生涯学習課)
6 議 事	<p>●は委員の発言、○は事務局の発言</p> <p>事務局 ○ 第3次宝達志水町男女共同参画行動計画、平成30年度の進捗状況について説明(※ 会議資料参照)</p> <p>議 長 ● 事務局から説明があったので、委員の感想等お願いします。</p> <p>委 員 ● 人権擁護委員では、学校で人権教室を開き、紙芝居などを通じて子ども達に啓発している。小中学校では毎年1回、保育所は1、2か所ずつ回っている。</p> <p>委 員 ● 分かりにくいというのが率直な感想。男女平等が職場のなかでも行われているが、具体的にどうなのか見えない。言葉で言われるよりも、どのように実践にもっていくかが大事。具体的な例をあげて、行動を表現する方が良いと思う。</p> <p>委 員 ● あまりにも多岐にわたり、窓口が広すぎる。ポイントを絞ってやった方が良いのではないか。審議会は年1回ということだが、四半期に1回くらいは集まって、進捗状況の報告とPDC【Plan(仮説・計画) Do(実行・実施) Check(検証・評価)】をまわす等すれば、成果が上がるのではないか。</p> <p>委 員 ● 多岐にわたる範囲だということは、十分感じている。私たちが考えている以上に町民はあまり関心がない中で生活している。広報紙で連載をもち、活動の報告や、行事のお知らせ、問題提起など、年間を通じて活動できるものがあればいい。進捗状況が分かるように審議会を四半期で開催する提案があったが、町民の方に対しても、男女共同参画について継続してお知らせするものがあれば、もっと理解が進む。理解を深める方法を模索できたら良いなと感じた。</p> <p>委 員 ● どうしても固定的性別役割分担意識が頭にあり、なかなか抜</p>

	<p>け出せない。団塊の世代以前の方は、その考え方を改めるにはどうしたらよいのかと思う。DV防止等の説明があったが、実際に町で相談やカウンセリングがあったかについては「実施していない」とある。相談が無いのか、相談できない環境なのか。世の中に女性に対する暴力はあると思うが、恥ずかしいから表面に出ないのか、新聞沙汰になるとか、悪循環を気にしてなのか。文字ではなく、具体的な方法でもって入ってってもらえないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>● 学校でも男女差別を刷り込みしているのではないかという新聞記事を読んだ。出席簿の順番や入学式・卒業式の点呼は、先に男子、次に女子だとか。そこからもう、男性優位を刷り込んでいるのではないかという記事。だんだん、全国的には男女に関係なしに、あいうえお順等に変わってきているが、子どものころからそういう形をとっていかないと、なかなか意識は変わらない。千葉の小学校4年生の女の子が亡くなっている。お母さんも逮捕されているが、お母さんもDVの被害者。</p> <p>世の中でお互いに皆が仲良く暮らしていくには、根本的なところをもう少し考えていかないと、単に男女共同参画であるとか、LGBTの問題ということだけでは、基本は変わらない。ポイントを絞らないと、どっちつかずになってしまう。</p>
<p>委員</p>	<p>● 保育所でも名簿は男女で分けたりしていた。最近では生年月日順になっている。ただ、小学校では、あいうえお順になっているので、そのへんは大丈夫だと思う。虐待にしても、本当に相談に来られる人はいい方だ。隠れた部分がどれだけあるのか、見えない部分がいっぱいあるのだろう。それをほじくり返すのも、個人のプライバシーというものが関係してくる。プライバシーというものが、とても難しい世の中にしている。</p>
<p>委員</p>	<p>● 資料6ページに「PTA役員等は、女性委員は積極的に選出されている」と良い意見を書いているが、PTAの立場だと、男性もある程度きていただかないと、組織がまわっていかない。女性が8割、男性が2割だと力仕事もできなくなる。女性目線ばかりになっていると、男性目線が逆に減っていつてしまっているところもあるのではないか。</p> <p>この会議は2月末に開催されたが、自分は3月31日で（所属団体役職の）任期が終わる。この審議会の体制はどうかと、疑問に思う。ここで意見したとしても、来年、何もその意見を聞けない。審議会委員は2年任期で、次の方に引き継いでくださいというが、引き継ぎもできない。</p>

事務局	<p>○ 2年間される方がほとんどですが、あて職でこられる方は、(所属団体) 役職を退かれたら、次の方に代わるということになっている。</p>
委員	<p>● この会議が4月とかに始まり、1年を通して、他の委員の言うとおりに4半期ごとに会議していくのであれば、自分も参加して、いろんな意見を出しながら、次に繋げていく。年1回、しかも2月会議という体制が、言葉はきついかもしれないが、疑問に思う。</p>
事務局	<p>○ いろんな事業、会議があるが、「青少年健全育成町民会議」では5月ごろに年度計画を話し、昨日は締めめの報告として2回目の会議をした。この男女共同参画審議会の場合は、6年間の行動計画について、平成30年度の進捗状況を報告するもので、それだけにお集まりいただいているのが実情です。今後、4回は無理でも、最初と最後くらいは開催して、最初にこういうことを1年間やりますとお知らせすれば、所属のところへ戻られて、こういうことを聞いてきたから頼む、と情報共有できるかもしれません。開催回数については検討させていただきたいと思います。</p>
議長	<p>● 県の男女共同参画推進員も2年任期です。私は10年位経っているから、やっと分かってきた感じ。皆さんのように2年任期で代わっていくと、本当に分からないのではないかと思います。1年に2、3回とか、皆さんに参加いただける会議になったらいいと思う。担当の方から、委員の意見に対して、答えをお願いします。</p>
事務局	<p>○ まず、DVに関する相談ですが、29年度と30年度の今日現在については1件もない状態で、27年度28年度に2件。ただし、町に直接相談があったのではなく、暴力被害の通報を受けた警察から町の方へ照会があって分かった。直接相談があったわけではない。研修等によその町の担当者や相談員の方と情報交換していると、相談が無いからと言って、うちの町にそういう事案が無いわけではないのだと分かる。よその市町村の相談窓口で電話してこられる方もよくいるそうです。現在、専門的知識を持った相談員がうちの町にはいないので、まず町担当者が相談窓口になる。相談を受けたら、例えば専門家のいる県の相談窓口と一緒にいたり、病院に付き添ったり、そういう寄り添う方法をしていかなければいけないと、研修等に参加して思った。相談時、聞き方とか話し方によっては、被害者の方をまた傷つけてしまうこともあるという話を聞いて、気をつけなければならないと思って</p>

	<p>いる。相談の知識が必要だと感じた。</p> <p>商工会の方に、ポスターなり、県が実施する講演会等の案内チラシを窓口に置いてくださいとお願いしているような状態で、具体的に町で何か企業の方を集めてすることが現在出来ていない状況だが、平成29年の12月に北川尻の林谷産業さんが、石川県の男女共同参画推進宣言企業の認定を受けている。商工会にお任せしているような状態なのに、宝達志水町で手を挙げて、こういうことをしますということで頑張っている企業があることを知った。</p>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● そういう方に参加してもらった方が。</li> <li>● 実際にどういうことをしているのか、話してもらったら。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ そうですね、どういう取り組みをしているか。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次回以降に。</li> <li>● オブザーバーでいいから来ていただいて、お話を聞きたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 石川県では、そういう企業は少ないんですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石川県では結構な数があるが、宝達志水町では一つということですか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業の方がたぶん、話は進んでいると思う。パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等、企業自体が生き残るために、どうしなければならないかということを経営者自身がまず考えて、変わってきていると思う。でも、会社は変わっていくけれども、家庭はあんまり…、それが一番問題だが。</li> </ul> <p>もう一つ、町でDVとかで相談を受けると後が大変。役場の職員だったら、どこに住んでいるか知っているから、家にまで電話がかかってきたり、押しかけてきたりする。県の相談機関であれば、そのへんのノウハウを持っているから、対応できる。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私もそう思う。クレーマーとかは別の話になるが、素人では手に負えないと思う。県の専門職の方とか、弁護士だとか、そういう人は勉強していますから。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私が行政職にいる時に、関西の母子が管内へ車で逃げてきた。話を聞いて対応したが、一週間もしないうちに夫が追いかけてきて、数日相談所のまわりをうろろろしていた。そういうこともあ</li> </ul>

	るので、出来るだけ、虐待にしても専門家に回した方がいいと思う。
議 長	● 担当者から、まだ説明とかありますか。
事務局	○ 「男女共同参画」は女性の地位向上等のイメージが強いのかかもしれないが、助け合っていく気持ちが必要だということを、もっと広報しながら伝えたい。今日皆さんの意見をたくさんお聞きしたので、参考にして広報活動をしていきたいと感じた。
議 長	● 学校では教育がだいぶ進んでいるので、この子どもさんが大きくなれば、おうちの中が思いやりのある生活ができるかなと期待している。
委 員	● 我々の地域も都会化してきている。何をしていたかが誰も注意しなくなってきた。 こういうことは全国的な話だから良い施策がいっぱいあると思う。是非、あれもこれもするのではなく、ポイントを絞って、国や県に専門家があるのだから、そこに投げかけるとか、真似するとか、縦のラインと地域力とかを総合していけば、成果が出てくるのではないかと思う。
委 員	● 下手に子どもに声を掛けたら、「変なおばさんに声掛けられた」とか言われるような時代になった。声を掛けて良いのか悪いのか。自分なりに「子どもは宝」だから、注意やあいさつをしているのに。
委 員	● 子どもは顔を見ていない、服装とかで見ているものだから、いつもと違うと全くダメで、いつも誰か彼か見守っているから声を掛けるんだよという意識が全く落ちてしまい、まず子どもの安全だけが優先 されてしまっている。大事なところが落ちかかってきている。
委 員	● あいさつしなくなりましたね。「おかえり」と言っても黙っている。
委 員	● でも、学校なんかへ行くと、子どもたちはすごい声であいさつしてくれる。
委 員	● パトロールしていれば、あいさつしてくれるけど、していな

	<p>かったら、変なおじさん、お婆さんになる。ピーっと（防犯ベルを）鳴らすかもしれない。学校教育も、ちょっと考えなければならない。</p>
委員	<p>● 確かに、いろんな問題が起きているから、やはり怖い。子どもを守らなければならないということがあるのだろうと思うが、ではそれをどうするかと言えば、日本全体の問題になってくる。</p>
委員	<p>● しかし、あいさつもしない、声を掛けてはならんとなってきた。そうではなくて、地域の良さは、皆で子どもを育てるということで、そのためにはどうしたら良いかを皆で考える必要がある。</p>
委員	<p>● あいさつしませんか。</p>
委員	<p>● しません。(登下校も) 集団ではなく、バラバラになってきた。子どもは宝ですから、支えてあげたい。不審者とは違うんですから、我々地域の年寄りも。</p>
委員	<p>● 交通安全のため、主な道路の十字路に立って指導などするが、皆さん、大きな声であいさつする。そういう習慣を一つの道具として、子どもたちにあいさつしているのだが、住んでいる地区とは別の在所に行ったら、あいさつがない。小学校の指導が発揮されている。そのへんが果たして良いのか悪いのかということだ。手を持って、車の中に引っ張るといったことではないのだが。</p>
各委員	<p>● 子どもたちには区別がつかない。 ● 毎日見ている顔だから、あいさつしてくれる。 ● 子どもたちにしても、お年寄りにしても、在所の中ならあいさつします。</p>
委員	<p>● 不審者に思われるのが、何かさみしいと言うか。せつかく、子どもたちに、「おかえり」と言っても、応えが返ってこないというのが悲しいというか。</p>
委員	<p>● 小学生はしないが、中学生・高校生は、きちんとあいさつする。「おかえり」と言ったら、「こんにちは」と言う。小学生が言わなくなってきた。</p>
委員	<p>● あいさつは一例。いろんな施策を寄せ集めて、これをやろう</p>

	とやっていけば、成果とか上がってきて、いい町づくりになると思う。
委員	● 資料の中に、配偶者の暴力の云々の話があるが、公共施設の女子用トイレに啓発カードを設置しているということだが、男性用の便所にしないのか。男性も女性の方から暴力を受けているということもある。
委員	● 割合は少ないが、男性がDV被害者の事案があるとは聞いている。片手落ちというか、一面を見て、一面を見ていないような。
委員	● 男性用の啓発カードを設置する等して、相談窓口を男にも知らしめることも必要ではないか。
委員	● そのカードをどうするのか？投函するのか？
事務局	○ 電話番号とか、「相談してください」「緊急の場合は24時間受け付けます」等書いてある。男性の相談する窓口ではない。
委員	● 女性専用の窓口ですね。
委員	● 「女性専用」とすること自身が謎だ。啓発カードも男女平等にしないと、やっぱり「女性」なんだと意識がそちらへ行く。啓発カードも男女平等だったら、平等なんだと思うが、片手落ちになる。差別がないようにしないと。
議長	● カード設置も考えてください。
事務局	○ はい。男性トイレにも。
各委員	● 男性の方が、女性よりもショックが大きいんですよ。 ● 今度、どこかへ行ったら（男性にも啓発カードをと）提案してみれば。
委員	● 男尊女卑があまりにも激しかったから、「男女共同参画」という言葉が出来上がってきたのだと思うが、だんだんと底上げはされてきている。でも、まだまだ差別というか、差はあるし、それをどう捉えるかと言ったら、まだ明確な答えは出ていないだろうと思う。

<p>委員</p>	<p>● 夫婦で話したりするが、男女雇用機会均等法というのは、仕事においても女性を上げよう上げようとしているところがある。嫁に言わせれば、本当に女性はそう思っているのか、有難迷惑だと。今の世は少子化で、女性が男性と同じように稼げて、結婚しない、自分一人で生きていける。自分は、共同というのが一番良いと思う。でも、これが行き過ぎると、逆転してしまうのではないかという懸念がある。否定的な意見になってしまってすみません。</p>
<p>議長</p>	<p>● そろそろ時間ですが、これだけは言っておきたいということはありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>● 職場においてもなかなか男女の差をつけられない社会になっている。人を募集するときも、そういったものを書く項目さえ無い。男女平等に如何にチャンスを与えるか、それを理解してもらえるか、そういう場を如何に提供できるかということが重要ではないかと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>● 私は県の推進員をしているが、皆さんの意見を他の推進員と共有しながら、少しでも地域に根ざした活動をしていきたいと思っています。その時はよろしくお願いします。</p> <p>事務局においては、今ほどの委員からの意見を集約いたしまして、行動計画との関係や充実したものとなるよう、努めていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、皆様のご協力により、スムーズな議事進行ができ、無事終了することができました。</p> <p>ここで議長を解任させていただきます。</p> <p>ご協力いただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>○ 今日は本当にいい意見をいただいた。そのまま全部、事務局としてできるかどうか、分からない面もありますが、少しでも良い方向にできればと思う。皆様のご意見、本当にありがとうございました。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p>
<p>5 資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3次宝達志水町男女共同参画行動計画</li> <li>・ 第3次宝達志水町男女共同参画行動計画進捗状況</li> </ul>